

平成 21 年度編入学者募集要項

《工業高等学校，高等学校又は中等教育学校の工業系学科の卒業（見込み）者》

《高等学校，中等教育学校の理数科又は普通科・理系コースの卒業（見込み）者》

工業系・普通	願書受付期間	平成 20 年 7 月 22 日（火）～7 月 28 日（月）
	学力検査日	平成 20 年 9 月 5 日（金）
	合格者発表日	平成 20 年 9 月 11 日（木）午前 11 時
入学手続き書類送付		平成 21 年 3 月上旬（予定）
入学手続き		平成 21 年 3 月 11 日（水）～12 日（木）

平成 20 年 6 月



Miyagi National College of Technology

宮城工業高等専門学校

問合せ先： 学生第一課教務係

〒981-1239 宮城県名取市愛島^{めでしま}塩手字野田山 48

Tel 022-381-0265 Fax 022-381-0267

E-mail kyoumu@office.miyagi-ct.ac.jp

ホームページアドレス <http://www.miyagi-ct.ac.jp/>

平成 21 年度編入学者募集要項

宮城工業高等専門学校
〒981-1239 宮城県名取市^{めてしま}愛島塩手字野田山 48
TEL 022-381-0265(学生第一課教務係)

「アドミッションポリシー」

本校の編入学者に期待される人間像は、次のとおりです。

- (1) 高等学校において科学または工学の基礎を習得した人
- (2) 希望する学科の教育目標を理解し、自主的に取り組む姿勢を持った人
- (3) 好奇心が旺盛で、粘り強く取り組む人
- (4) 専門的な知識や技術力を磨いて、社会に貢献する意欲のある人
- (5) 他人への思いやりがあり、約束を守る人

「各学科等の教育目標」

機械工学科：広範な工学分野にも適応できる基礎力と創造力を持ち、将来、新製品や新技術の開発・研究等に際して新しい問題が生じたときに、速やかに対応し、独創的な考察を行い、決断力を持って積極的に実行できる機械技術者を育成する。

電気工学科：学生自身が自ら「電気の現象を含む自然界や社会の事象」について科学的かつ徹底的に勉強することを通して、彼らが自分自身の良さを見出し、それを発展させ、そして自身の意見を述べるようになるよう指導する。

建築学科：各授業科目を有機的に関連させて、建築に関する知識と技術を身につけさせるとともに、人間性豊かな教養と芸術的感性を養い、真理を認識する能力や創造的知性を磨き、人間環境のよりよい発展に寄与し得る建築技術者を育成する。

材料工学科：多様化する新時代の材料工学に対処して、基礎となる材料科学を理解し、付加価値の高い材料を設計・開発・応用・保全及び製造できる材料技術者を育成する。

情報デザイン学科：情報分野とデザイン分野の幅広い知識・能力を持ち、社会が求めている人間や自然にやさしい「モノ」や「システム」を生み出すことのできる専門技術者を育成する。

総合科学系（一般科目）：人間として、また社会人としてふさわしい広い視野と豊かな教養を身につけ、人間形成への基盤を作ること、及び、工学を学ぶための理数系の学問的基礎を身につける。

I. 工業高等学校、高等学校又は中等教育学校の工業系学科の卒業(見込み)者

1. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次

学 科 名	募 集 人 員	編入学年次
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
建 築 学 科	若 干 名	第 4 学 年
材 料 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
情報デザイン学科	若 干 名	第 4 学 年

2. 出 願 資 格

次に掲げる者で在籍(出身)学校長が本校の教育に適すると認め、推薦する者

- (1) 工業高等学校、高等学校又は中等教育学校の工業系学科を卒業した者
- (2) 上記の学科を、平成 21 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

3. 志 望 学 科

在籍(出身)学校における受験対象科は、下記のとおりとします。

募 集 学 科	受 験 対 象 科
機 械 工 学 科	機械科・電子機械科・農業機械科・自動車科
電 気 工 学 科	電気科・電子系・情報系
建 築 学 科	建築科・土木科・インテリアデザイン系
材 料 工 学 科	機械系・電気電子系・化学系
情報デザイン学科	出身学科は、問わない。

4. 願書受付期間

- (1) 受付期間 平成 20 年 7 月 22 日 (火) から平成 20 年 7 月 28 日 (月) まで

(注) 期間内必着とします。ただし、平成 20 年 7 月 25 日(金)以前に発信局消印のある簡易書留・速達便に限り、上記受付期間後に到着した場合でも受け付けます。

5. 提 出 書 類

志願者は、次の書類等を作成し、在籍(出身)学校長を経て、本校所定の出願用封筒により、

簡易書留郵便で送付してください。

なお、期間内必着ですから、郵便事情を考慮して、十分余裕をもって発送してください。

(注) 複数の志願者がいる場合は、1志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れ、それを一括して在籍(出身)学校の封筒を用いて『編入学願書在中』と朱書し、送付してください。

- (1) 編入学願書 本校所定用の紙に、志願者が必要事項を記入のうえ、写真(たて 4.5 cm×よこ 3.5cm)をはってください。
- (2) 推薦書 本校所定用の紙に、在籍(出身)学校長が作成したものとします。
- (3) 調査書 在籍(出身)学校所定用の紙に、学校長が記入のうえ、厳封したものとします。
- (4) 卒業証明書又は卒業見込証明書 在籍(出身)学校所定用の紙に、学校長が証明したものとします。
- (5) 受験票・写真票 本校所定用の紙に、志願者が必要事項を記入のうえ、写真(たて 4.5 cm×よこ 3.5cm)をはってください。
- (6) 健康診断証明書 本校所定用の紙を使用し、平成 21 年 3 月卒業見込みの者については、在籍学校長の証明を受けたものとします。平成 20 年 3 月以前に卒業した者については、医師の証明を受けたものとします。
- (7) 受験票返送用封筒 本校所定の受験票返送用封筒に志願者又は在籍(出身)校の郵便番号、住所、氏名を明記し、350 円切手をはってください。
- (8) 入学検定料 16,500 円
本校所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、平成 20 年 7 月 1 日(火)～平成 20 年 7 月 25 日(金)の期間内に、**最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く)から振込み、検定料振込済証明書を「検定料振込済証明書」提出票にはってください。**
なお、出願書類受理後の検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。
- (9) 受験承諾書 現に就職している者は、その所属長の受験承諾書(書式は、任意とする)を提出してください。

6. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、学力検査の成績、在籍(出身)学校長からの調査書、面接の結果及び健康診断の総合判定によります。

なお、学力検査は、出題 4 科目の合計点が 190 点以上であること、かつ、専門科目、数学及び英語は 50 点以上であること、小論文は 30 点以上であることを要します。

(1) 学 力 検 査

学力検査の科目及び出題範囲は、次のとおりとします。

志望学科	科 目 (配点)	出 題 範 囲
機械工学科	小論文 (50点)	課題は、当日与えます。(800字)
	数 学 (100点)	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学B [ベクトル(平面上のベクトル), 数列] 数学C [行列(2行2列の行列の演算, 逆行列)]
	英 語 (100点)	英語Ⅰ
電気工学科	専門科目 (100点)	◎機械工学科 機械工作(ただし、生産の管理を除きます) 機械設計
建 築 学 科		◎電気工学科 電気基礎 (直流回路, 磁気と静電気, 交流回路 (ただし、三相交流は除きます))
材料工学科		◎建築学科 建築計画 建築構造及び建築構造設計(ただし、不静定構造物は含みません) 作品提出 (今まで作成した図面作品1点を持参してください)
情報デザイン学科		◎材料工学科 物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 機械材料(「機械工作」中の機械材料), 電気基礎(「電気基礎」中の直流回路, 交流回路(ただし、三相交流は除きます)), 化学工学の5科目から2科目を選択 ◎情報デザイン学科 ハードウェア技術・プログラミング技術(言語はBASIC, Cの中から1つを選択してください) 必須 物理Ⅰと素描(デッサンの実技, 課題は当日与えます)のうち1科目を選択

(2) 学力検査及び面接の日時並びに日程

◎ 日 時 平成20年9月5日(金)午前9時から (受付:8時30分から)

◎ 日 程

科 目	小論文	数 学	英 語	専門科目	面 接
所要時間	60分	60分	60分	90分	約15分
検査時刻	9:00 } 10:00	10:15 } 11:15	11:30 } 12:30	13:30 } 15:00	15:15 }

(3) 健康診断

提出された健康診断証明書によって審査します。ただし、本校において再診断の必要があると認められた者は、面接終了後、学校医による再診断を行うことがあります。

(4) 面接

学力検査終了後、全員に対して、面接を行います。

(5) 学力検査及び面接の実施場所

宮城工業高等専門学校

7. 合格者の発表

平成20年9月11日(木)午前11時に受験番号を本校に掲示するとともに文書で在籍(出身)学校長及び本人へ通知します。

なお、電話による問い合わせには、一切応じません。

8. その他の注意事項

- (1) 編入学志願者は、受験に際して在籍(出身)学校と十分に相談のうえ志願してください。
- (2) 出願関係書類受理後は、記載事項の変更は認めません。また、書類の返還は、行いません。
- (3) 出願関係書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 試験当日に必要なものは、受験者心得(受験票と同時に配付します)を参照のうえ準備してください。
- (5) 受験のための宿舎を必要とする場合は、各自で準備してください。
- (6) 入学手続きは、3月上旬に入学手続き書類を送付し、3月11日(水)及び12日(木)に行います。なお、入学手続きを行わない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。
- (7) 出願関係書類の請求並びに編入学に関する問い合わせは、下記係あてに行ってください。

宮城工業高等専門学校 学生第一課教務係

〒981-1239 宮城県名取市^{めでしま}愛島塩手字野田山48

TEL 022-381-0265

Ⅱ. 高等学校、中等教育学校の理数科又は普通科・理系コースの卒業(見込み)者

1. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次

学 科 名	募 集 人 員	編入学年次
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
建 築 学 科	若 干 名	第 4 学 年
材 料 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
情報デザイン学科	若 干 名	第 4 学 年

2. 出 願 資 格

次に掲げる者在籍(出身)学校長が本校の教育に適すると認め推薦する者

- (1) 高等学校、中等教育学校の理数科又は普通科・理系コースを卒業した者で数学 18 単位以上、物理 5 単位以上、化学 3 単位以上を修得の者
- (2) 上記の学科で上記単位の修得(見込み)者で、平成 21 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

3. 願 書 受 付 期 間

平成 20 年 7 月 22 日(火) から平成 20 年 7 月 28 日(月) まで

(注) 期間内必着とします。ただし、平成 20 年 7 月 25 日(金) 以前に発信局消印のある簡易書留・速達便に限り、上記受付期間後に到着した場合でも受け付けます。

4. 提 出 書 類

志願者は、次の書類等を作成し、在籍(出身)学校長を経て、本校所定の出願用封筒により、**簡易書留郵便**で送付してください。

なお、期間内必着ですから、郵便事情を考慮して、十分余裕をもって発送してください。

(注) 複数の志願者がいる場合は、1 志願者ごとに本校所定の出願用封筒に入れ、それを一括して出身(在籍)学校の封筒を用いて『編入学願書在中』と朱書し、送付してください。

- (1) 編 入 学 願 書 本校所定の用紙に、志願者が必要事項を記入のうえ、写真(たて 4.5 cm × よこ 3.5 cm)をはってください。
- (2) 推 薦 書 本校所定の用紙に、在籍(出身)学校長が記入したものとします。
- (3) 調 査 書 在籍(出身)学校所定の用紙に、学校長が作成のうえ、厳封したものとします。
- (4) 卒業証明書又は 卒業見込証明書 在籍(出身)学校所定の用紙に、学校長が証明したものとします。

- (5) 受験票・写真票 本校所定の用紙に、志願者が必要事項を記入のうえ、写真(たて4.5cm×よこ3.5cm)をはってください。
- (6) 健康診断証明書 本校所定の用紙を使用し、平成21年3月卒業見込みの者については、在籍学校長の証明を受けたものとします。平成20年3月以前に卒業した者については、医師の証明を受けたものとします。
- (7) 受験票返送用封筒 本校所定の受験票返送用封筒に志願者又は在籍(出身)校の郵便番号、住所、氏名を明記し、350円切手をはってください。
- (8) 入学検定料 16,500円
本校所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、平成20年7月1日(火)～平成20年7月25日(金)の期間内に、**最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く)から振込み、検定料振込済証明書を「検定料振込済証明書」提出票にはってください。**
なお、出願書類受理後の検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。
- (9) 受験承諾書 現に就職している者は、その所属長の受験承諾書(書式は、任意とする)を提出してください。

5. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、学力検査の成績、在籍(出身)学校長からの調査書、面接の結果及び健康診断の総合判定によります。

なお、学力検査は、出題4科目の合計が190点以上であること、かつ、数学、英語及び物理は50点以上であること、小論文は30点以上であることを要します。

(1) 学 力 検 査

学力検査の科目及び出題範囲は、次のとおりとします。

志望学科	科 目 (配点)	出 題 範 囲
機械工学科	小 論 文 (50点)	課題は、当日与えます。(800字)
電気工学科 建 築 学 科	数 学 (100点)	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学B 数学C(行列)
材料工学科	英 語 (100点)	英語Ⅰ、英語Ⅱ
情報デザイン学科	物 理 (100点)	物理Ⅰ、物理Ⅱ

(2) 学力検査及び面接の日時並びに日程

◎ 日 時 平成 20 年 9 月 5 日(金)午前 9 時から (受付 : 8 時 30 分から)

◎ 日 程

科 目	小論文	数 学	英 語	物 理	面 接
所要時間	60 分	60 分	60 分	60 分	約 15 分
検査時刻	9 : 00 } 10 : 00	10 : 15 } 11 : 15	11 : 30 } 12 : 30	13 : 30 } 14 : 30	14 : 45 }

(3) 健 康 診 断

提出された健康診断証明書によって審査します。ただし、本校において再診断の必要があると認められた者は、面接終了後、学校医による再診断を行うことがあります。

(4) 面 接

学力検査終了後、全員に対して、面接を行います。

(5) 学力検査及び面接の実施場所

宮城工業高等専門学校

6. 合格者の発表

平成 20 年 9 月 11 日(木)午前 11 時に本校に受験番号を掲示するとともに文書で在籍(出身)学校長及び本人へ通知します。

なお、電話等による問い合わせには、一切応じません。

7. その他の注意事項

- (1) 編入学志願者は、受験に際して在籍(出身)学校と十分に相談のうえ志願してください。
- (2) 出願関係書類受理後は、記載事項の変更は認めません。また、書類の返還は、行いません。
- (3) 出願関係書類に虚偽の記載事項があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 試験当日に必要なものは、受験者心得(受験票と同時に配付します)を参照のうえ準備してください。
- (5) 受験のための宿舍を必要とする場合は、各自で準備してください。
- (6) 入学手続きは、3月上旬に入学手続き書類を送付し、3月11日(水)及び12日(木)に行います。

なお、入学手続きを行わないものは、入学の意思がないものとして取り扱います。

- (7) 出願関係書類の請求並びに編入学に関する問い合わせは、下記あてに行ってください。

宮城工業高等専門学校 学生第一課教務係
〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手^{めでしま}字野田山 48
TEL 022-381-0265

◎ 教育課程
一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語	7	3	2	2			
	国語表現	1			1			
	地理	2	2					
	世界史	2		2				
	倫理	1		1				
	政治経済	2			2			
	英語講読	5	3	2				
	英語表現	5	2	3				
	総合英語	4			4			
	保健体育	9	3	2	2	2		
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	3	3					
	微積分	8		4	4			
	代数幾何	2		2				
	応用数学	2				2		
	物理	5	2	3				
	化学	4	2	2				
	化学概論	1				1		
	情報基礎	2	2					
	創造実習	1		1				
小計	70	26	24	15	5	0		
選択科目	総合科目A 特別学修A	0.5以上 1~2	1~2	1~2	0.5以上 1~2	0.5以上 1~2	0.5以上 1~2	総合科目A,B 特別学修A,B併 せて上限6単位
	並列 外国語A	4				2	2	
	並列 外国語B	4				2	2	
	並列 英語・英米文学A	1				1		
	並列 日本文学A	1				1		
	開講 比較文化論A	1				1		
	開講 芸術論A	1				1		
	開講 科学技術史A	1				1		
	開講 アジア文化論A	1				1		
	並列 英語・英米文学B	1				1		
	並列 日本文学B	1				1		
	並列 比較文化論B	1				1		
	開講 芸術論B	1				1		
	開講 科学技術史B	1				1		
	開講 アジア文化論B	1				1		
	並列 健康学A	1					1	
	並列 哲学A	1					1	
開講 日本史学A	1					1		
開講 経済学A	1					1		
開講 社会学A	1					1		
並列 健康学B	1					1		
並列 哲学B	1					1		
開講 日本史学B	1					1		
開講 経済学B	1					1		
開講 社会学B	1					1		
並列 生物学	2					2		
並列 地球科学	2					2		
小計	35.5 以上	1 以上	1 以上	1.5 以上	17.5 以上	19.5 以上		
開設単位数計	105.5 以上	27 以上	25 以上	16.5 以上	22.5 以上	19.5 以上	75単位以上修 得のこと。	
特別活動	90時間	30時間	30時間	30時間	—	—		

専門科目

イ 機械工学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	設計製図	15	2	2	4	5	2		
	工作実習	7	2	2	3				
	情報処理	1			1				
	応用物理 I	2			2				
	解析学	2				2			
	材料力学	4			2	2			
	流体力学	2				2			
	熱力学	2				2			
	工業倫理	1				1			
	機械力学	2				2			
	総合セミナー	2				2			
	工学実験	6				3	3		
	卒業研究	13					13		
小計	59	4	4	12	21	18			
選択科目	機械工作法	3	1	1	1			注2 参照	
	特別学修 B	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2		
	工業数学	2		1	1				
	機械設計演習	1		1					
	機械材料	3			1	2			
	機構学	1			1				
	工業力学	2			2				
	総合科目 B	0.5 以上			0.5 以上	0.5 以上	0.5 以上		注2 参照
	応用物理 II	1				1			
	計測工学	1				1			
	自動制御	2				2			
	電気工学概論	1				1			
	数値計算法	1					1		
	テクニカルライティング	1				1			
	情報ネットワーク	1				1			
	校外実習	1以上				1以上			
	流体力学	1					1		
	伝熱工学	1					1		
	エネルギー変換工学	1					1		
	熱機関	1					1		
	トライボロジ	1				1			
	メカトロニクス	1					1		
	電子工学	1					1		
	システム工学	1					1		
	ロボット工学	1					1		
	材料強度学	1					1		
	化学工学概論	1					1		
	機械有機材料	1					1		
	機械無機材料	1					1		
	生産工学	1					1		
環境工学	1					1			
経営工学	1					1			
小計	38.5 以上	2 以上	4 以上	7.5 以上	12.5 以上	17.5 以上			
開設単位数計	97.5 以上	6 以上	8 以上	19.5 以上	33.5 以上	35.5 以上	82 単位以上修得のこと。		
一般科目との開設単位数計	203 以上	33 以上	33 以上	36 以上	56 以上	55 以上			

注1 一般科目と専門科目を併せて 167 単位以上修得のこと。
 注2 一般科目の総合科目 A 及び特別学修 A 並びに専門科目の総合科目 B 及び特別学修 B は、併せて上限 6 単位とする。

□ 電気工学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	基礎電気	2	2						
	電気工学入門	1	1						
	電気工学実験	14	1	2	3	4	4		
	電気回路Ⅰ	4		2	2				
	電磁気学	4			2	2			
	解析学	2				2			
	工業倫理	1				1			
	総合セミナー	2				2			
	卒業研究	13						13	
	小計	43	4	4	7	11	17		
選択科目	情報処理	6	1	2	2	1		注2参照	
	特別学修B	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2		
	数学演習	1		1					
	電子回路	2			2				
	デジタル回路	2			2				
	電気機器Ⅰ	2			2				
	電気計測	2			1	1			
	電気工学演習	2			1	1			
	総合科目B	0.5 以上			0.5 以上	0.5 以上	0.5 以上		注2参照
	応用物理	3			1	2			
	製図	2			2				
	電気回路Ⅱ	2				2			
	半導体工学	2					2		
	計算機工学	2				2			
	真空電子工学	1				1			
	テクニカルライティング	1				1			
	情報ネットワーク	1				1			
	制御工学	2				1	1		
	通信工学	3				1	2		
	校外実習	1以上				1以上			
	電気電子材料	2				2			
	電気機器Ⅱ	1					1		
	電力工学	2				1	1		
	機械工学概論	2					2		
	電気工学特別演習	1					1		
	システム工学	1					1		
	デジタル信号処理	1					1		
	電気法規施設管理	1					1		
	メカトロニクス	1					1		
	特別講義	1					1		
環境工学	1					1			
経営工学	1					1			
小計	53.5 以上	2 以上	4 以上	14.5 以上	19.5 以上	18.5 以上			
開設単位数計	96.5 以上	6 以上	8 以上	21.5 以上	30.5 以上	35.5 以上	82単位以上修得のこと。		
一般科目との開設単位数計	202 以上	33 以上	33 以上	38 以上	53 以上	55 以上			

注1 一般科目と専門科目を併せて167単位以上修得のこと。
注2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限6単位とする。

ハ 建築学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	建築概論 A	1	1					
	建築概論 B	1	1					
	建築設計製図 I	3	3					
	建築設計製図 II	3		3				
	建築設計製図 III	4			4			
	建築設計製図 IV	4				4		
	建築生産概論	1		1				
	建築構造概論	1		1				
	建築計画概論	1		1				
	日本建築史	1			1			
	西洋建築史	1			1			
	建築プレゼンテーション	1			1			
	建築計画 A	1			1			
	建築計画 B	1			1			
	建築環境工学 I	2			2			
	建築材料学 I	2			2			
	建築構造力学 I	1			1			
	建築構造力学 II	2				2		
	建築構造学 I	1			1		2	
	建築構造学 II	2					2	
	建築学特別研修 I	1			1			
	工業倫理	1					1	
	総合セミナー	2					2	
建築設備 I	1					1		
建築設備 II	1						1	
公共施設計画 I	1					1		
建築実験実習	4					4		
卒業研究	13						13	
小計	58		5	6	16	17	14	
選択科目	特別学修 B	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	注 2 参照
	数学演習	1		1				
	応用物理	2			2			
	総合科目 B	0.5 以上			0.5 以上	0.5 以上	0.5 以上	注 2 参照
	建築材料学 II	1				1		
	建築構造力学 III	1				1		
	建築構造力学 IV	2					2	
	建築学特別研修 II	1				1		
	建築学特別研修 III	1					1	
	建築総合演習 I	2				2		
	建築総合演習 II	2					2	
	テクニカルライティング	1				1		
	情報ネットワーク	1				1		
	建築環境工学 II	1				1		
	建築設備 III	1					1	
	建築法規	1					1	
	都市計画	2					2	
	公共施設計画 II	2						2
	建築数理	1					1	
	校外実習	1 以上					1 以上	
	建築デザイン	2						2
	建築施工	2						2
	測量	2						2
鉄筋コンクリート構造	2						2	
鉄骨構造	2						2	
建築構造演習	1						1	
環境工学	1						1	
経営工学	1						1	
小計	38.5 以上	1 以上	2 以上	3.5 以上	14.5 以上	22.5 以上		
開設単位数計	96.5 以上	6 以上	8 以上	19.5 以上	31.5 以上	36.5 以上	82 単位以上修得のこと。	
一般科目との開設単位数計	202 以上	33 以上	33 以上	36 以上	54 以上	56 以上		

注 1 一般科目と専門科目を併せて 167 単位以上修得のこと。

注 2 一般科目の総合科目 A 及び特別学修 A 並びに専門科目の総合科目 B 及び特別学修 B は、併せて上限 6 単位とする。

二 材料工学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	基礎材料科学	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1	1					
	基礎製図	1	1					
	機械工作実習	2	2					
	材料組織学Ⅰ	0.5		0.5				
	基礎電気Ⅱ	0.5		0.5				
	情報処理Ⅰ	2		2				
	材料工学実験Ⅰ	1.5		1.5				
	電気・電子工学実験Ⅰ	1.5		1.5				
	応用物理Ⅰ	2			2			
	工業力学	2			2			
	物理化学Ⅰ	2			2			
	工業化学Ⅰ	2			2			
	電子物性Ⅰ	2			2			
	設計製図Ⅰ	3			3			
	材料工学実験Ⅱ	3			3			
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	設計製図Ⅱ	3				3		
材料工学実験Ⅲ	3				3			
電気・電子工学実験Ⅱ	2					2		
卒業研究	13					13		
小計	51	5	6	16	9	15		
選択科目	特別学修B	1～2	1～2	1～2	1～2	1～2	1～2	注2参照
	数学演習	1	1					
	材料組織学Ⅱ	2			2			
	電気回路	1			1			
	情報処理Ⅱ	2			2			
	材料工学演習	1			1			
	総合科目B	0.5以上			0.5以上	0.5以上	0.5以上	注2参照
	解析学	2				2		
	テクニカルライティング	1				1		
	情報ネットワーク	1				1		
	応用物理Ⅱ	2				2		
	材料強度学Ⅰ	1				1		
	材料組織学Ⅲ	1				1		
	材料力学	2				2		
	物理化学Ⅱ	1				1		
	工業化学Ⅱ	1				1		
	電子物性Ⅱ	2				2		
	構成材料Ⅰ	1				1		
	材料化学Ⅰ	1				1		
	機能材料Ⅰ	1				1		
	電子回路	1				1		
	材料分析実験	2				2		
	校外実習	1以上				1以上		
	計測・制御工学	1					1	
	生産工学	1					1	
	システム工学	1					1	
	材料強度学Ⅱ	1					1	
	材料加工学	2					2	
	電子工学	2					2	
	表面工学	1					1	
	構成材料Ⅱ	1					1	
	材料化学Ⅱ	1					1	
	機能材料Ⅱ	1					1	
複合材料	1					1		
セラミックス材料	2					2		
デジタル回路	1					1		
結晶解析学	1					1		
材料セミナー	1					1		
環境工学	1					1		
経営工学	1					1		
小計	49.5以上	1以上	2以上	7.5以上	22.5以上	21.5以上		
開設単位数計	100.5以上	6以上	8以上	23.5以上	31.5以上	36.5以上	82単位以上修得のこと。	
一般科目との開設単位数計	206以上	33以上	33以上	40以上	54以上	56以上		
注1 一般科目と専門科目を併せて167単位以上修得のこと。 注2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限6単位とする。								

ホ 情報デザイン学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	プログラミング入門Ⅰ	1	1					
	情報デザイン概論	2	2					
	造形基礎	2	2					
	プログラミング入門Ⅱ	2		2				
	コンピュータ概論	1		1				
	デザイン基礎	2		2				
	製図	1		1				
	造形表現演習	1		1				
	プログラミング演習Ⅰ	2			2			
	コンピュータキクチャ	2			2			
	コンピュータグラフィクス	2			2			
	情報数学Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅰ	2			2			
	情報デザイン実験	2			2			
	人間工学	2			2			
	プロダクトデザイン	2			2			
	視覚情報デザイン	2			2			
	工業倫理	1				1		
	総合セミナーA	2				2		
	総合セミナーB	2				2		
文献講読	2					2		
卒業研究	13					13		
小計	50	5	7	18	5	15		
選択科目	特別学修B	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	注2参照
	総合科目B	0.5 以上			0.5 以上	0.5 以上	0.5 以上	注2参照
	プログラミング演習Ⅱ	2				2		
	アルゴリズムとデータ構造	2				2		
	デジタル通信工学	1				1		
	モバイルシステム概論	2				2		
	情報ネットワーク	1				1		
	画像処理	2				2		
	CG演習	2				2		
	デジタル信号処理	2				2		
	テクニカルライティング	1				1		
	感性工学	2				2		
	応用物理Ⅱ	2				2		
	デザイン演習Ⅰ	4				4		
	材料概論	1				1		
	校外実習	1以上				1以上		
	コンパイラ	2					2	
	情報数学Ⅱ	2					2	
	デジタル信号処理演習	2					2	
	人工知能	2					2	
	システム工学	2					2	
	情報デザインセミナー	2					2	
	特別講義	2					2	
デザイン概論	2					2		
デザイン演習Ⅱ	2					2		
環境工学	1					1		
経営工学	1					1		
小計	46.5 以上	1 以上	1 以上	1.5 以上	26.5 以上	21.5 以上		
開設単位数計	96.5 以上	6以上	8以上	19.5 以上	31.5 以上	36.5 以上	82単位以上修得のこと。	
一般科目との開設単位数計	202 以上	33 以上	33 以上	36 以上	54 以上	56 以上		

注1 一般科目と専門科目を併せて167単位以上修得のこと。

注2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限6単位とする。

◎ 入学時に必要な経費

○学費と奨学制度

《学校納付金》

区 分	金 額	備 考
入 学 料	84,600 円	入学時のみ納入
授 業 料	117,300 円	年額 234,600 円の前期分 後期分は10月に納入（一括納入も可） ※在学中に授業料改定が行われた場合には改定時から新授業料が適用されます。
計	201,900 円	

《参考》《入学時に必要なその他の費用（平成20年度）》

区 分	金 額	備 考
学生会諸納付金	学生会入会金	2,500 円 入学時のみ納入
	学 生 会 費	7,000 円 年額
その他諸経費	見学旅行積立金	12,000 円 総額84,000円 残金72,000円は別途納付
	学生傷害保険	4,376 円 2年分一括払い
	教材・教科書代等	約20,000 円 年額 学科により異なります。
後 援 会	入 会 金	10,000 円 入会時のみ納入（兄弟等で在学生在がいる場合には、不要です）
	会 費	32,000 円 年額（日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金保護者負担金を含みます）
同窓会入会金	5,000 円	入学時のみ納入
合 計	約92,876 円	

《参考》《寮生の費用（平成20年度）》

区 分	金 額	備 考
入 寮 費	2,000 円	入寮時のみ納入
寄 宿 料	700 円 又は 800 円	月額（複数室） 月額（個室）
共 益 費	4,850 円（4～7・9 月分）	月額 10～3 月は月額5,850 円
食 材 費	995 円	日額（3食）

※ 4, 5年生においては、民間の施設の活用をお願いすることがあります。

《日本学生支援機構奨学金制度》

「学業優秀で経済的に修学困難な者」を対象にした奨学金制度です。この制度に関する案内等は、「日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>」を参照してください。

このほか、地方公共団体や民間団体の奨学金制度もあります。

《入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予制度》

入学前1年以内において、学資負担者の死亡等の特別な事情により、入学料の納付が困難であると認められる者に対し、選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除し、または、その徴収を猶予する制度があります。

また、経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、選考のうえ、授業料の全額もしくは半額を免除し、または、その徴収を猶予する制度もあります。

◎ おわりに

ご来校いただいて、一度見学されることをお勧めします。

なお、ご来校の際は、説明や案内をいたします。

また、電話や手紙での問い合わせは、下記あてに行ってください。

連絡先：宮城工業高等専門学校 学生第一課教務係

〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手^{めでしま}字野田山 48

電 話 022-381-0265

F A X 022-381-0267

E-mail kyoumu@office.miyagi-ct.ac.jp

インターネットホームページのアドレス

<http://www.miyagi-ct.ac.jp/>

【個人情報に関する取扱について】

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として使用するとともに、次の目的のためにのみ利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究